



## 大和小だより ～令和7年12月号～

【学校教育目標】進んで学習する子 思いやりのある子 よく考えて行動する子 元気よく遊べる子  
大和市立大和小学校 〒242-0018 大和市深見西 8-7-1 ☎046-261-0795

### 【見え方・感じ方の違い】



11月5日は、今年の満月の中では最も大きく見える「スーパームーン」でした。月と地球の距離が約35万kmと最も近づく満月です。反対に月との距離が約40万kmと一番遠くなる満月は4月13日でした。大きさを比べると、見た目の直径で14%も違うそうです。当日はあいにくの天気でしたが、翌日は晴れて、はっきりと美しく輝いている姿を見ることができました。ご家庭でもご覧になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私たちは、月ではウサギが餅をついていると教わりましたが、海外では、「カニ」や「ライオン」、「本を読むおばあさん」、「髪の長い女の人」など、その見え方は様々なようです。そこには、それぞれの国や地域の文化や歴史などが深く関係しています。

私たちが普段見ている月も、世界の人々からは違う姿に見える・・・考え方や価値観の違いに気づききっかけにもなるのではないのでしょうか。「どちらが正しい」ではなく、「そう見える理由がある」ことを理解しあうことが大切です。

子どもたちにとっても、友だちの考えや感じ方を尊重しあうことは、一人ひとりの生活をより温かく、安心できるものにしていきます。違いを否定するのではなく、「そんな見方もあるんだ」と受け止めることができる心は、これからの社会においても必要とされるとても大切な力です。

文化や考え方の違いを知り、お互いに認めあうこと。これは、いじめや差別をなくすための、第一歩です。同じものを見ていても、感じ方は一人ひとり違います。その違いを温かく受け入れあえる子どもを育むために、家庭や地域に支えていただきながら、教育活動を進めていきたいと思えます。



これからも、子どもたちが安心して安全に過ごすことのできる学校づくりにご理解とご協力をお願い申し上げます。

【次の満月を見るときに、ウサギではなく、カニやライオンが見えるかどうか試してみてください。】

(学校長)

数年前のコロナ禍の頃のお話です。春の遠足が実施できずに、冬の遠足で動物園に行ったことがあります。いつもと違う冬の動物園。どうなることかと思いましたが、よかったことがありました。寒い地方の動物たちが元気に活動する姿が見られたことです。シロクマは元気に泳いでおり、タヌキは活発に走り回っていました。

考えてみれば当然のことで、動物の住んでいる地域はさまざまです。寒さが得意な動物もいればそうでない動物もいます。季節に応じて違った動物の姿が見られるわけです。いつもと違うことをすると、別のいいことや新たな発見があるものだなと思いました。

【ちなみにその年の5年生は冬のキャンプに行きました。まったく汗をかくことがなく、快適に過ごせました。】

(教頭)